

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名 放課後等デイサービス ピクシー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		勉強ルームを設け、個別のデスクも用意している。	カームダウンの為のスペースを確保予定。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	2		保育士等を、常時4人以上支援スタッフとして配置している。	支援の質を上げていくために増員予定。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	4	必要箇所へ手すりの設置を行っている。	現状、車椅子利用の受け入れは困難。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1		全ての職員が同じ意図をもって支援にあたるよう月に1度の支援会議にて情報を共有している。	支援前ミーティングにも力を入れ参画している。」
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		1	昨年度の評価表を基に、改善に繋げている。	今後はアンケート等も実施し、沢山の意見を取り入れていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			本年度開所の為、評価時点では行っていない。	準備が出来次第公表を行った。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	6	第三者評価は設置していない。	事業所の質の向上の為、検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			内部研修をメインに行ってきた。	外部研修への参加や、外部講師を招いた研修を検討している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		6カ月毎のモニタリングを確実にし、振り返りながら作成している。	適宜聞き取りや情報の共有を行っていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		1	アセスメントシートを活用し行っている。	見合った研修への参加を検討している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		全職員で意見を出し合い立案を行っている。	今後も継続していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			支援者側だけの意見でなく、児童の意見を多く取り入れている。	児童の自主性や主体性を多く取り入れていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		その季節に出来る事を多く設定している。	本人の課題に必要な支援を継続して行う。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		1	それぞれの児童に合わせて作成している。	本人の必要に応じて必要な目標を立案していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			サービス提供前に確認している。	今後も継続していく。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	3	送迎等で職員が揃わない事があるので、翌営業日に行っている。	今後も、気づきや問題点等を共有し支援に繋げていく。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			記録の書き方等の内部研修を行っている。	記録漏れのないよう今後も確実に継続していく。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			6カ月に1度の割合で行っている。	情報を共有し、作成・立案を行っていく。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1		運動・コミュニケーション・認知面といった生活するための力を支援内容に入れている。	今後も必要な内容と取り入れていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			適任者が参加している。	普段から、児童の情報共有に力を入れていく。
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			下校時刻の確認や、迎え時に出来る限り情報を共有している。	学校からの見学等を促し、受け入れていく。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	4	現時点ではケースなし。	今後、必要な児童が利用する場合には、連携を行う。
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	1	就学前の園等での担当者会議への参加を行っている。	今後も情報収集・共有を行い、理解に繋げる。
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	4	現時点ではケースなし。	必要時には、いつでも提供できる。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		4	現時点では行っていない。	今後、情報収集やスキルアップのために参加を検討している。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	2	職員の子供等が活動に参加している。	今後は、外部の児童との関りも取り入れていく。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	2	必要時に参加している。	今後は積極的な参加を検討している。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			連絡帳の活用や、送り時に随時共有を行っている。	今後も継続して共通理解を目指していく。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	5	相談へは都度対応している。	今後は、活動の場を通してのペアトレを考えている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		館内掲示と共に、契約時等に丁寧な説明を心掛けている。	不明な点等がないよう、確認を行いながらの説明を徹底する。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			相談日は設けていないが、相談時には対応している。	今後も適宜相談に応じ助言等を行っていく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	4	保護者会の開催には至っていないが、イベントを通して交流の場を設けている。	必要とあれば、保護者会の開催を検討していく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			マニュアルを作成し即時対応するよう徹底している。	今後も、即時対応出来るよう現体制を継続する。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		SNSやピクシー便りを発行しし情報発信を行っている。	今後も継続して情報発信を行っていく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	8			確実に施錠できるロッカーに保管している。	帰宅時は、机の上に置いたままにならないよう徹底していく。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			送迎時に必ず会話をを行い、情報の伝達を行っている。	今後も、情報交換の時間を確保する。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	4	行えていない。	今後、実施していきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			マニュアルを作成し、対応が出来るよう共有している。	今後も実施していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			6カ月毎に、児童も含めて行っている。	今後も実施していく。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		特に力を入れて取り組んでいる。	高いレベルで、全職員の虐待への意識の統一を目指していく。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			現時点ではケースなし。	必要時には作成している身体拘束の適正化のための指針に基づいて行っていく。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	4	指示書はないが、保護者に調査票の記入を行ってもらっている。	今後も実施していく。
	④⑲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			ファイリングし全職員が確認出来るようにしている。	現在行っている、月毎の振り返りを継続していく。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。